図書だより

特別号

最上校
7月31日　図書委員会

コロナの影響もあり、以前と比べて外へ行く機会も減ったと思います。まだまだ自粛の続く日々で窮屈に感じる人もいるのではないでしょうか。そんな時こそ読書をして自分の世界を広げてみませんか？

今回の本紹介は学年ごとにジャンルを分けて書いてみました。自分に合った本だけでなく普段読まないような本も読んでみてはいかがでしょうか？

星守る犬　原田マハ著

この作品の主な内容は、捨てられたハッピーという犬と、病気を持っている男の終わりのない物語です。
元々は3人家族で娘のみくがハッピーを拾い育てた。だが家族が離婚が経つにつれ家族関係がばらばらになってしまった。
離婚をしてきた男はハッピーを引き取り1人と1匹の旅の始まりです。
最後の結末を知りたい人はぜひ図書館から借りて読んでみてください。

二年　井上玉留葉

～昔話法廷～

裁判員制度を考える話題のNHK Eテレの番組を小説化した本です。
昔話で起きた展開を現代の法律になぞらえて、裁判形式で展開する物語です。
いつもと違う目線で物語をみてみませんか。
もしかしたら、読む前と読んだ後の感想が違うかもしれません。

今回の裁判の内容は…
・白雪姫
・三匹のこぶた
・カチカチ山
です。
最後に判決を決めるのはあなたです。

2年　佐藤舞香

キャプテン　答えより大事なもの
原作　ちばあきお

私が思ったのは、この本は原作を原代風に最近の若い者に見やすいようにアレンジされ、恋愛要素が追加された変愛青春小説になっています。
私が女子であった「キャプテン」はひたすら、野球に青春を捧げる物語が好きで、変愛要素は必要ないと思いました。しかし恋愛青春小説になったことで私のような野球マニアック人間だけでなく、女小生のファンも増えてうれしかったです。小説片仮になったことで、メンバーの苦悩や青春の良い思い出も追加されているのでぜひ、この本を読んで夏休み、青春してみてください。

3年　越後肖也

「スマホを落としただけなのに」
志賀晃著

この本は昨年日本映画化された、人気作品です。
内容は主人公がスマホを落としてしまい、そのスマホを拾った男はハッカーだった。個人情報が漏洩してしまい、そこから事件が始まった。
人間には表と裏の顔があり裏の顔の人間の姿が、こんないも小布を木る人だと思った本です。
ぜひ、夏の暑い日に、この本を読んで涼しい気持ちになってください。

3年　知場瑞葵

「白雪姫殺人事件」
湊かなえ著

私が今回紹介する「白雪姫殺人事件」は、五章で構成されており、一章から四章は主人公目線で語られ、五章は犯人の自供という形です。あらすじというか、主人公であるフリー記者の赤星花鈴のもとに、ある時代の友人から電話がかかってくる。話の内容は、小学校で飼っていた白雪姫の飼育小屋で焼死体が発見されたという。そして、その事件の容疑者が、当時の友人の同級生という。遺体は、学校の敷地内の焼却炉の前で発見され、現場には、ガソリンを撒いた痕跡があり、放火殺人事件ではないかと警察は捜査を始めるが…という感じです。この本のテーマがネットの炎上や拡散被害を訴えているだけあり、ネットの闇が上手く描かれていると思います。ネットの闇が上手く描かれていると思います。ネットの闇が上手く描かれていると思います。